武蔵野
信陽舎 舎友会報

会　報
第４号

2019年4月1日発行
公益財団法人 信陽舎 舎友会

事務局 ☎(045)902-2575;090-9841-6349
発行人　福與　卓臣
E-Mail: tof2943@citrus.ocn.ne.jp

第4回（平成30年度）舎友会総会・懇親会開催報告

平成30年9月8日（土） 東京の新宿サンパーク本館にて正午より第4回総会が開催された。 出席者は舎友35名に来賓として法政大学教授高柳俊男先生、オブザーバーとして在寮生３名が加わり39名であった。

総会は牧内会長が議長となり、まず事務局による平成29年度事業報告、会計報告並びに嶋岡監事による監査報告、続いて平成30年度事業計画、事業予算の報告があった後決議した結果、それぞれ全会一致で承認された。 引きつづき報告事項として、飯田支部の池野事務局長並びに松本中信支部の竹村幹事長より、それぞれの支部活動報告があった。 長野北信支部については、参加予定の仁科事務局長が急遽欠席となった為、東京事務局の福與より支部発足の経過報告が行われた。 続いて、事務局より寮の運営報告と寮生活の現況報告があり、最後に 来年の総会は第5回という記念の年なので、開催地を信州の飯田地区にしたいと提案し、異議なく承認され、午後12時25分に総会は閉会となった。

総会後に行われた懇親会は池神副会長の司会進行で開会。 まず、今年度中に新たに判明した4名を加え52名となった（武蔵境寮再建以降の）物故者のご冥福を祈って1分間の黙祷を行った。

最初に牧内会長が開会の挨拶に立ち、概略次のような内容の話をされた。 まず第４回総会が無事開催できたことへの感謝を述べるとともに、舎友会も昭和38年入寮組が強力な執行体制を敷いて運営してくれているが、この同じメンバーが寮（公益法人信陽舎）の役員も兼ねている。 彼らの頭の髪の毛を見ればわかる通り、皆70歳代半ばという年齢になっていることを考慮すると、若い世代の舎友の中から役員候補者を掘り起こしていくことが急務となっているので皆さんの協力をと述べられた。 続いて祝辞として古島理事長が挨拶に立ち、第4回舎友会総会・懇親会開催を祝すとともに、牧内会長同様に舎友会の中から寮の運営役員候補者を是非とも輩出して頂きたいので、協力頂ける方は是非申し出てほしいとの挨拶があった。

次に、公益財団法人信陽舎の評議員選定委員となって頂くことになった来賓の法政大学国際文化学部教授・高柳俊男先生よりご挨拶を頂いた。

先生は、国際文化学部の留学生に日本の歴史・文化などを学ばせるには、東京ではなく地方の視点から日本を捉える目を養うのが良いとの考えから、南信州の飯田地区を選択、毎年夏に留学生を率いて飯田地区で研修している。 その研修の中で、信陽舎出身のOBの方々と知り合い、信陽舎にとても興味を持ったのがきっかけだと経緯を述べられ、今後寮のお役に立てればと思うと述べられた。

続いて、林副会長が乾杯の挨拶に立ち、「皆さん早く喉を潤したいでしょうから」と参加者の心理を読まれて、「先ずは一度乾杯してから、挨拶させていただき、その後にもう一度正規の乾杯をしましょう」と、ユーモアたっぷりの乾杯の挨拶に参加者一同、一気に気持ちがほぐれ、和やかな宴が始まった。

ここからは、池神副会長に代わって原誠幹事が司会進行役を務めて賑やかで楽しい宴となった。 各テーブルとも和気藹々、それぞれに席を移しつつ年代を超えて語り合い大いに盛り上がった。 途中、特別会員の塚田浩一さんの挨拶、初参加の4名（山口章裕・小林隆・田中淳一・御子柴優樹）の挨拶、各地区から参加した舎友の自己紹介、遠く姫路から参加の上松進さんの挨拶があり、伊原理事学監の紹介で参加寮生3名の紹介、さらに、武蔵境寮第1期生の平澤正通さん等の長老から、2年前に卒寮した岩原優君まで多数の方が飛び入りでマイクを握り、寮生活の想い出や現況などを語り、大盛況となった。 午後14時45分、牧野理事学監の音頭で寮歌を斉唱。 午後15時、深澤副会長の閉会の挨拶の後、全員で記念写真を撮影、午後15時20分に葛岡副会長による中締め（万歳三唱）があり、午後15時30分閉宴となった。

第4回総会・懇親会
平成30年9月8日（土）12:00～15:30
新宿サンパーク本館 7階大ホール

支部報告

南信(飯田)支部報告

【 第5回総会の飯田地区開催に向けた東京本部との打合せ会合 】

平成30年10月26日（金） 午後18時00分～20時30分 会場：飯田市桜町「信濃屋」

参加者 13名： 東京より3名(池神副会長兼常務理事、伊原理事学監、福與事務局長兼副理事長)、飯田支部より10名(下平肇副会長、坂好章副会長、常盤昌昭幹事長、原錬造副事務局長、尾畑明、塩沢隆利、金田憲治、五島久揮副幹事長、深津徹、池野兼浩事務局長)が出席して打合せを行った。

まず、東京本部事務局の福與より主要な4議題につき趣旨説明を行い話し合った結果、下記のとおり通り決定した。

議題1. 来年の第5回舎友会総会の開催会場の件

今年の総会にて第5回総会・懇親会は飯田地区にて開催すると決定したので、会場について事前に支部に調査してもらった結果、池野事務局長より資料提供してもらい検討した結果次の通り決定した。

開催日： 2019年9月7日(土)
会　場： シルクホテル(飯田市錦町 ☎0265-23-8383)
会場使用時間： 午前11:30～16:00
交通便： 飯田駅及び高速バス飯田駅前停留所より徒歩2分
会　費： 7,000円(通信費等込)
参加者： 50名～60名 (6月末頃に最終決定予定)
開催責任者： 福與本部事務局長
地元責任者： 池野支部事務局長
実行委員： 本日出席の飯田支部会員(下平、坂、常盤、五島、原、池野、尾畑、塩沢、金田、深津)を中心に組織する

総会・講演会・懇親会次第

11:30 受付 (担当： 飯田支部)
12:00 総会 (担当： 東京本部事務局)
12:30 講演会
講師： 牧内良平 (舎友会会長、神奈川大学理事長)
講師： 林　史典 (舎友会副会長、筑波大学名誉教授)
13:30 懇親会 (担当： 飯田支部)
16:00 閉会

議題2. 飯田・南信支部の会長である高間成之さんより、会長を辞任したい旨の連絡があったので、新たに会長を選出するよう提案、当日出席された副会長の下平肇さんと坂好章さんの二人が候補者として推挙され、お二人で話し合った結果、年長者ということで、新会長に下平肇さんが就任されることに決定。 【飯田支部新会長： 下平 肇（87）】

議題3. 来年度の法人役員・評議員改選に伴い、飯田支部より各1名づつ選出する件

2019年6月開催予定の評議員会・理事会における改選につき、評議員は定員を3名以上12名以下に増員したので、飯田支部から評議員、理事とも各1名の選出を予定していることを説明し、協議した結果出席者全員一致で次の通り決まった。

【評議員候補： 五島久揮（176、新任） 理事候補： 池野兼浩（298、重任）】

議題4. 来年(平成31年)度寮生募集PR活動及び面接選考の件

＊募集PR活動 ： 来年3月卒寮予定者が4～5名と少ないことを考慮し、今回は高校訪問PR等の特別な活動は自粛することとなった。

＊面接選考支援： 飯田会場での面接選考は、3月10日(日)午後2時からの1回のみとするとの趣旨説明を行い了承された。

第5回舎友会総会開催地 "飯田" に決定！

日 時 ： 2019年 9月 7日（土曜日）正午～16時　　会場：シルクホテル（飯田市錦町）

12:00～12:30 第5回総会　12:30～13:30 記念講演　13:30～16:00 懇親会

《 記 念 講 演 》

・講 師 **牧内良平** ： 舎友会会長、神奈川大学理事長、元テレビ神奈川社長・会長、神奈川新聞社専務、神奈川県協同募金会会長、神奈川県日中友好協会会長、神奈川県ゴルフ協会会長、横浜文化賞選考委員会会長、秦野市総合計画審議会会長等歴任、旭日小綬章受賞

・講 師 **林　史典** ： 舎友会副会長、筑波大学名誉教授・元副学長、聖徳大学名誉教授、文化庁文化審議会国語分科会会長として「改定常用漢字表(答申)」を取りまとめ、文化政策、国語施策の推進に多大な貢献を果たしたことに対し、平成30年9月文化庁創立50周年記念表彰を受賞

飯田の地で懐かしい仲間と再会しましょう！

支部報告

中信(松本)支部報告

【 舎友会中信支部立上会合 】

平成30年11月22日（木）PM19時～22時　　会場：松本市本町「仙岳松本店」

参加者　13名：　東京より3名：　池神利勝副会長兼常務理事、深澤克巳副会長兼理事、福與卓臣事務局長兼副理事長
中信支部より10名：　小池章(76)、中山卓(103)、平栗幹夫(106)、深澤勝吉(135)、塩沢明(138)、竹村治恭(140)
中村與志人(191)、田村裕昭(264)、瀧澤敏章(274)、塚田浩一(S1)が出席して立上会合が開催された。

まず、支部事務局の深澤勝吉氏より、下記の通り今回の支部会合の案内の回収率、出席率の報告があった。

案内状送付数	40	返信ハガキ数	20	50%
住所不明戻り数	0	内出席者数	10	25%

続いて、東京本部及び理事会から提案された議案につき審議した結果下記の通り決定した。

議題１．　中信支部役員承認の件
趣旨説明：　平成28年10月26日に中信地区在住の舎友7名が参加して中信支部の設立準備会合を行い、暫定的に会長、幹事長、事務局長の三役決めて寮生募集、面接選考などの支援活動を行ってきたが、本日の立上会合において、より多くの舎友の協力を得たいということで、下記の通り正式役員が決定した。

【舎友会中信支部役員　（全会一致で承認）】

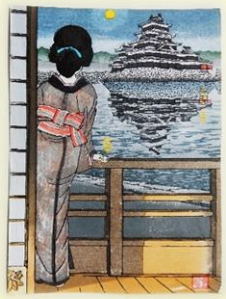
会　　長	：　中山　　卓　（舎友No.103）	相　談　役	：　小池　　章　（舎友No. 76）
幹　事　長	：　竹村　治恭　（舎友No.140）	副 幹 事 長	：　中村與志人　（舎友No.191）
事 務 局 長	：　深澤　勝吉　（舎友No.135）	副事務局長	：　田村　裕昭　（舎友No.264）

議題２．　来年度法人役員改選に伴い中信支部より理事1名選出の件
福與副理事長より、中信支部から理事を1名選出してほしい旨の趣旨説明があり協議した結果、竹村治恭さんが推挙され本人が就任を了承したので候補者として決定。　　【新理事候補者】 竹村治恭　（舎友No.140）

報告１．　平成31年度寮生募集PR活動及び面接選考の件については、来年度は募集定員が5～6名と少ないため、特別なPR活動は自粛する。　松本会場での面接選考は、3月10日（日）午後2時からを予定している。

報告２．　2019年度の第5回舎友会総会開催の件について、第5回ということで信州・飯田地区で開催することになり、今回は総会、懇親会に加え牧内会長と林副会長を講師に記念講演会を行うので、中信支部舎友の多数の参加要請があった。

【信州の明珠財宝】　国宝・松本城天守閣　（松本市丸の内）



版画提供・福田璋夫(116)

写真提供・小池章(76)

スケッチ・福與卓臣(117)

現存する日本最古(1954年築造)の五重天守閣。 天守に連結する月見櫓は日本唯一の遺構

北信(長野)支部報告

【 北信支部忘年会 】

平成30年12月5日（水）PM18時～20時30分　　会場：長野市南千歳「おたる」

参加者 5名：東京より1名：福與卓臣、北信支部より4名：神波潔(85)、水上壱雄(194)、田尻実(207)、仁科圭右(306)

まず、支部事務局長の仁科圭右さんが、参加者が少なくて申し訳ない、事務局の力不足を痛感していると謝罪するとともに、今回は12月という時期や曜日が災いしたと思うので次回を期待してほしいと語った。

続いて、福與より、支部の先輩にあたる南信支部、中信支部の活動内容等の報告及び寮の現況報告を行った後、長野での将来の寮生募集面接選考実施を考慮し、北信支部から理事を1名推挙して欲しいとの提案があり、下記の通り田尻実さんに決定した。

【新理事候補者：　田尻　実（207）】

今後、参加者を増やしていくためにどうすべきかを話し合う中で様々な案が出てきたが、最終的には、「次回は参加者を増やして寮の運営を後方支援できるように此処にいる主要メンバーで連絡を密にして取り組んでいきましょう」との神波会長の力強い言葉に全員が賛同、スマホのラインを交換し合って絆を確認。 少人数だが、深い絆で結ばれた少数精鋭部隊といった印象で将来が楽しみな支部忘年会であった。

舎友便り

《 会報3号原稿締切以降に届いたお便り 》

中嶋　敏晴（45）：　所用のため総会は欠席いたしますが、皆様に宜しくお伝えください。

北原東亜夫（55）：　時流に乗っている？ のか、親の介護もあり、飯田と東京の行ったり来たりの生活です。 正に、老・老介護です。返事が遅くなって申し訳ありませんが、9月8日の総会・懇親会の盛会を祈っています。

仲田　哲夫（155）：　総会当日は失礼しますが、ご盛会を祈念いたします。

金田　憲治（164）：　返信が大変遅くなり申し訳けございません。 メールも頂きながら恐縮に思っています。 総会当日は公務があり出席できません。またの再会を楽しみにしています。 豪雨、災害に格上げされた（？）猛暑と大変な一年になりそうです。 私は元気でいます。 暑さに負けないことをお祈りいたします。

松井　一光（336）：　息子が大変お世話になっております。

田中　　寿（369）：　飯田で元気に暮らしております。 寮建て替えの都合上、2年の在籍でしたが、とても充実した生活が送れました。 今でも思い出深いのは、寮の先輩・後輩との飲み会、野球大会でした。

副会長・林　史典（舎友No.67）さん文化庁より表彰！

文化庁創立50周年記念表彰　平成30年9月30日

公益財団法人信陽舎の理事であり、信陽舎舎友会副会長でもある林　史典さんが文化庁より創立50周年記念表彰された。 文化庁は創立50周年に当たり、過去50年を振り返り、文化の振興に多大な功績のあった者（外国人及び団体を含む。）に対し、その功績をたたえるため、文化庁において選考を行い、文化庁長官が表彰を決定した。

表彰者紹介・経歴・功績概要

表彰者氏名：林　史典（はやし　ちかふみ）

主要経歴等：日本語学研究者、筑波大学名誉教授・元副学長、聖徳大学名誉教授

功績概要等：文化審議会国語分科会会長として、「改定常用漢字表（答申）の取りまとめに尽力するとともに、国語分科会を中心に今後取り組むべき国語施策の課題を整理するなど、文化政策、とりわけ国語施策の推進に多大な貢献を果たした。

「三八会（昭和38年入寮同期会）」新年会

日時：　2019年1月24日（木）午後4時～8時　　会場：　新宿サンパーク本館6階　日本料理「三平」

出席者は、上松三治彦（108）、池神利勝（109）、片桐勝臣（110）、五嶋　昭（112）、深澤克巳（115）、福田璋夫（116）、福與卓臣（117）の7名。　昭和38年（1963年）4月、信陽舎に入寮した同期生は12名。 同じ釜の飯を食べ、生活を共にしてから56年の歳月が流れ、今年で全員が後期高齢者（75歳）となる。 その間に久保田匡（111）君、藤本富士雄（118）君、山口靖博（119）君の3名が故人となり、関沢正躬（114）君は連絡不明、残る8名の内、郷里の高森町に帰った小平国俊（113）君を除く上記の7名が現在も首都圏に健在だ。 この7名が毎年、「三八会」を開いて旧交を温めている。

「三八会」8名の内、6名が寮（法人）及び舎友会の評議員あるいは役員などを務めているため、どうしても寮や舎友会の運営に関する話が多くなってしまうのも止むを得ない。 参加者全員に共通しているのは、信陽舎での寮生活の経験が、その後の人生において大きな糧や礎となったとの思いが強いことである。

会の最後には、お互いに元気である限り信陽舎に少しでも恩返しをしようと誓い合い楽しい宴は散会となった。　（福與記）

ご冥福を！
武蔵境寮以降
の物故者53名

仲田長三（舎友番号 89、1961年入寮）さん　平成30年11月11日ご逝去

舎友の弟・仲田哲夫（舎友 No.155）様及び子息・仲田行宏（舎友 No.424）様よりご連絡
仲田長三さんは、舎友会飯田・南信支部の副会長として寮のPR活動にご尽力頂いておりました。

再建後 63回目の寮祭

平成30年11月24日（土曜日）武蔵境に再建されて36回目となる寮祭が盛大に行われた

寮生たちにとって最大のイベントとあって、粗相があってはならないと寮生たちは塚田寮長を中心に1ヶ月前から長谷川寮母さんと相談しながら準備を進めてきたようだ。 参加者が総勢46名とこれまでにない大人数のため、前日から、ケアハウスからテーブルや椅子を借りるなどの準備に追われた。

当日は午前中から五平餅を焼くための炭熾し、タレ造り、五平餅の型造りなど手分けして作業をし、昼には第一弾の五平餅が焼き上がり、ケアハウスの入居者と職員に届けて召し上がっていただき、大変美味しかったと喜ばれた。 昨年はタレ造りに失敗し、味はイマイチだったが、今年は大成功で大変美味しい五平餅であった。

午後18時頃には理事や評議員、先輩たちが続々と集まり始め、ケアハウスの招待者も来場された18時30分、副寮長の權田、埋橋両君の司会進行、塚田寮長の開会宣言で今年の寮祭はスタートした。

まず、古島理事長の祝辞、村田ケアハウス施設長の祝辞があった後、池神常務理事による乾杯の挨拶で宴は一気に盛り上がった。 寮生、先輩、理事などが酒を片手に、入れ替わり立ち代わり各テーブルを回って酒を酌み交わし、大変楽しい意義ある寮祭であった。

《 寮祭名物の五平餅作り 》

餅の型造りと串刺し作業

炭火での最初の下焼き

味噌だれを付けて二度焼きし完成

寮生が2階のテラスで五平餅を焼くのをケアハウスのお年寄りが興味深そうに見学していた。 先輩寮生が1年生にコツを教えながらじっくりと焼き上げた。（左写真） 豪華な料理とともにテーブルに並んだ 寮生手作りの五平餅 （右写真）

《 平成30年度信陽舎寮祭 》

日　時：平成30年11月24日（土）午後6時30分～
会　場：信陽舎2階食堂
参加者：46名 （内訳）寮生23名、理事6名、評議員2名、先輩舎友5名、ケアハウス 5名、レオック㈱ 3名、シルバー清掃2名

寮生、先輩、理事などが酒を片手に、入れ替わり立ち代わり各テーブルを回って酒を酌み交わし、大変盛り上がった。寮母さん、先輩舎友などとの二次会では楽しい笑い声がいつまでも絶えなかった。

卒寮生（2015年入寮）送別会

最も充実した寮生活を送った4名全員が信州にUターン

卒寮おめでとう！　（左より）神藤駿介君・竹村和也君・大石晃也君・松田理央君

神藤駿介君

竹村和也君

大石晃也君

松田理央君

後輩の寮生たちからプレゼントされたネクタイに感激気味の4名

良き寮風を創ってくれた君たちに感謝！

都会での学生生活を支えてくれ貴重な青春の想い出を育んでくれた信陽舎での4年間。

格別に充実した寮生活を送った4名は社会人としての夢と希望を胸に、神藤君は飯田市、竹村君は長野市、大石君は小諸市、松田君は塩尻市の職場へとそれぞれ旅立って行きました。

自治活動を通じて良き寮風の基盤を築いてくれた素晴らしき若者たちの前途を心から祝福したい。

4年間歌い続けてきた寮歌斉唱

出席者全員でお別れ記念撮影

《　運営報告　》

公益財団法人信陽舎 評議員・役員（理事・監事）改選

今年(2019年)6月22日開催予定の定時評議員会終結をもって現評議員(任期4年)並びに現役員(任期2年)の任期が満了となるために改選の準備を進めており、評議員に関しては、2月6日に開催された評議員選定委員会において下記の11名が新評議員として選定され、6月22日開催予定の定時評議員会終結後に就任することが決定した。

【 2019年2月6日（水）開催の評議員選定委員会報告 】

評議員選定委員会は、評議員選定委員会規則(評議員2名、監事1名、外部委員2名で構成)に基づき、下記の5名が選定委員となり、信陽舎の会議室にて開催された。

《委員》 片桐勝臣（評議員）、上松三治彦（評議員）、坪木　崇（幹事）
　　本島　信（外部委員・弁護士）、高柳俊男（外部委員・大学教授）

《結果》 下記の11名の候補者全員が選定委員の全会一致をもって選定承認された。

評議員選定委員会議

《 新評議員 》

新評議員の任期：2019年6月22日開催の定時評議員会終結後から2023年6月開催予定の定時評議員会終結までの4年間

新評議員	舎友No.	入寮年	重・新	居住地	法人との関係
古島　史雄	47	1959	新任	横浜市港南区	現理事長
久保田 光昭	58	1960	新任	東京都練馬区	現監事
牧内　良平	91	1961	新任	神奈川県海老名市	舎友会会長
片桐　勝臣	110	1963	重任	東京都板橋区	現評議員
上松 三治彦	108	1963	重任	東京都杉並区	現評議員
福田　璋夫	116	1963	新任	東京都小平市	元評議員
鈴木　昭夫	154	1966	新任	東京都渋谷区	元評議員
牧野　憲治	157	1966	新任	東京都西東京市	現理事
浅沼　弘愛	172	1968	重任	横浜市栄区	現評議員
五島　久揮	176	1968	新任	長野県飯田市	舎友
小林　　隆	354	1989	新任	茨城県水戸市	舎友

《 新役員(理事・監事)候補者 》

新役員の任期：2019年6月22日開催の定時評議員会終結後から2021年6月開催予定の定時評議員会終結までの2年間

新役員(理事・監事)候補者は、現時点で理事会より推薦された下記12名で、6月22日開催予定の定時評議員会において審議されて、承認された場合にその評議員会終結後に就任となる。

役員候補者名	舎友No.	入寮年	重・新	居住地	法人との関係	職務
林　　史典	67	1960	重任	千葉県四街道市	現理事	理事
池神　利勝	109	1963	重任	東京都大田区	現常務理事	〃
深澤　克巳	115	1963	重任	横浜市旭区	現理事	〃
福與　卓臣	117	1963	重任	横浜市青葉区	現副理事長	〃
竹村　治恭	140	1965	新任	長野県松本市	舎友	〃
伊原江太郎	147	1966	重任	東京都八王子市	現理事学監	〃
田尻　　実	207	1970	新任	長野県中野市	舎友	〃
原　　誠	220	1971	新任	埼玉県川越市	舎友	〃
池野　兼浩	298	1981	重任	長野県飯田市	現理事	〃
田中　淳一	470	2001	新任	東京都三鷹市	舎友	〃
岩原　　優	580	2012	新任	川崎市中原区	舎友	〃
葛岡　龍夫	151	1966	重任	茨城県守谷市	現理事	監事
坪木　　崇	408	1996	重任	山梨県大月市	現監事	〃

役員若返り

役員候補者13名の平均年齢は63歳と現役員14名の平均年齢72歳から約9歳若返る見込みとなった。

経理・財務業務の外注先として税理士・榊原雅直先生に決定

常務理事として経理・財務業務を担当していた土屋雅敬さんが今期をもって辞任されることになったため、経理・財務業務を担当できる理事候補者を検討していたが、適任者がいないため、外注を検討した結果、寮運営の公益的役割や運営理念に共感していただいた税理士の榊原雅直先生に決定。

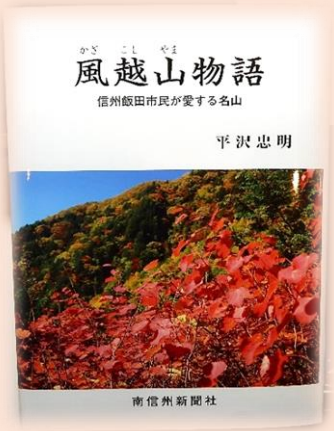
☎ 事務局・編集部便り ☎

書籍紹介「風越山物語」

信州飯田市民が愛する名山

著者：平沢 忠明
（舎友No.145 1965年入寮）

【著者略歴】1947年長野県下伊那郡高森町山吹に生れる。飯田高校、早稲田大学政経学部卒、東大新聞研究所研究科終了。大宅壮一マスコミ塾3期生、大森実太平洋大学卒。毎日新聞社各支局、長野支局長、本社読者室長。南信州新聞社編集局顧問等歴任。毎日新聞社終身名誉職員、南信州新聞社社友。



内容：第1部文学の山、第2部信仰の山
第3部市民の山、で構成。
出版：南信州新聞社出版局。2,000円
販売：「平安堂飯田店」で好評販売中

名峰・風越山を通じて南信州の自然と歴史と文化を縦横無尽に探索した著者渾身の名著

「開山１３００年の年に発刊された記念碑的な著作」（齋藤憲氏、南信州新聞12月1日号より）

「これほど風越山を自然、文化の両面から総合的に詳しく書かれたものは初めてです。 古い資料の数々を丹念に掘り起こし、研究され、また取材して仕上げられたこの書は、風越山の優れた案内書でもあり、また貴重な研究論文だと思います」（山下守弘、風越山を愛する会会長の「出版に寄せて」より）

古くは平安の時代から人々に崇められ、詠われ、愛されるとともに、人々に豊かな自然の恵みを与えてきた風越山。 その歴史と自然とそこに育まれた文化を、12年間にわたって著者自らの目と耳と足で踏査して書き上げた渾身の結晶がこの「風越山物語」である。（福與記）

著者の平沢忠明氏（信陽舎舎友）は、その「あとがき」で語る。

「長野県飯田市のシンボルといわれる風越山。 私はここ十数年、この山に春夏秋冬、登ってきた。 絶好の登山日和の日もあれば、雨の日、雪の日もあった。 元旦にも登り、花火を山上から観るため夜間にも登った。 1枚の狙った写真を撮るためだけに何年も同じ場所に登った。 かつて風越山で深夜に鳴いていたという仏法僧（コノハズク）の声を聴くため、山上で仲間数人と一夜を過ごしたこともあった。 ‥（中略）‥

過去に風越山については書かれた文献を調べ、様々な人々に話を聞いた。 何よりも、「現場百回」という刑事と同じ新聞記者の取材の原則で、繰り返し、風越山に登った。 それまで知らなかった風越山のいろいろな姿が分かってきた。 本書は、そんな経過で、平成18年7月以来、南信州新聞に「風越山物語」として、今年（平成30年）6月まで44回にわたり断続的に掲載してきたものをまとめたものである」

反響が大きく売り切れの場合はご容赦ください！ もし、増刷となった折には再度ご案内いたします。

《 事務局からのお願いとお知らせ 》

年会費納入のお願い！

信陽舎舎友会の運営費及び舎友会報「武蔵野」の発行費用などは、全て舎友の皆さんの年会費によって賄っております。 より活発な舎友会とするために皆さんのご協力をお願い致します。

飯田開催の第5回舎友会総会に参加しよう！

今年9月7日（土）開催予定の第5回総会・懇親会は信州の飯田で初めて開催されます。 今回は特に、牧内会長、林副会長を講師として記念講演を企画しておりますので、舎友の皆さんには互いにお誘いあわせの上、多数のご参加をお願いします。

移転等住所変更の場合は事務局までご一報を！

住居移転等により住所が変わられた場合、舎友の消息をご存じの場合はメールでも構いませんので、必ず下記事務局までご一報をお願い致します。

☎ お便り大歓迎！ ☎

舎友の皆さんの便りを募集しております。 今期より会報の発行は年2回に増やしましたので遠慮なく下記事務局までどしどしお便りをお寄せ下さい。

☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っておりません。 同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は下記事務局までお問合せ下さい。

≪ 会報「武蔵野」編集委員 ≫

上松三治彦(108)	竹村　治恭(140)
葛岡　龍夫(151)	浅沼　弘愛(172)
青柳　淳英(280)	池野　兼浩(298)

会報「武蔵野」第4号 2019年4月1日発行

〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8
信陽舎舎友会事務局　福與卓臣（フクヨタカオミ）
☎(045)902-2575 携帯☎ 090-9841-6349
E-mail：tof2943@citrus.ocn.ne.jp